

総合管理計画見直しに伴う

個別施設計画

施設ごとの方針及びマネジメント期等一覧

(1-1) 行政系施設 庁舎等



◆総合管理計画見直しに伴う個別施設計画

(1) 施設概要

施設名称	旧市役所	所属課	契約管財課
大分類	行政系施設	中分類	庁舎等
所在地	阿波町東原173-1	総延床面積 (㎡)	596.94
耐震基準/耐震化	一部耐震化/-	避難所指定	未指定
設置目的・役割	-		
根拠条例等	-		

(2) 施設を構成する主な建物及び更新等推計費用

建物名・棟名	延床面積 (㎡)	構造	建築年月日	建築後30年後 大規模改修費 (千円)	建築後60年後 建て替え費 (千円)
附属棟	287.32	鉄骨造	1986/9/6	71,830	114,928
別館	222.26	鉄筋コンクリート	1994/10/14	55,565	88,904
倉庫	87.36	鉄骨造	1984/4/1	21,840	34,944

※(2)の延床面積の計は主な建物のみ表示しているため(1)の総延床面積と一致しない場合があります。

(3) 個別管理計画に基づく方針等について(平成29年計画策定当時)

管理上の課題	本施設は、平成25年度末まで、合併後の本市の行政サービス等に係る中心的な施設として利用されてきたが、その役割が平成26年度から市場町の市役所本庁舎に移転してから、遊休施設となっている。現在、施設敷地内の草刈りや内部清掃等が不定期に行われてはいたものの不衛生な状態である。	
基本的な考え方	本施設は、現在、別館の一部が阿波市ケーブルネットワークのサブセンターとして使用されており、また、附属棟の一部を阿波陶芸教室及び消防団阿波方面本団詰所として使用されている。なお、本施設の今後については、「運転免許センター」、「地域子育て総合支援拠点」、「消防団救助技術訓練拠点」、「まちづくりコミュニティスペース」等からなる複合施設に改修を行い、平成32年4月に供用開始予定としている。	
方針	3	利活用の検討を行う。
マネジメント期	1	2018年度から2022年度までの5年間

(4) 計画見直しに伴う実施計画(令和3年3月31日時点)

	実施年度	主な工事事業	工事事業費(千円)
施設に係る 主な工事事業 (予定含む)			
今後のあり方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。		
方針の見直し	改変事業		
方針	1	適切かつ計画的な維持管理を行う。	
マネジメント期	-	-	

※マネジメント期は社会的及び経済的な事情等により変更となる可能性があります。

◆総合管理計画見直しに伴う個別施設計画

(1) 施設概要

施設名称	旧市役所分庁舎	所属課	契約管財課
大分類	行政系施設	中分類	庁舎等
所在地	阿波町東原157-3	総延床面積 (㎡)	359.25
耐震基準/耐震化	新耐震基準/-	避難所指定	未指定
設置目的・役割	旧阿波町時代に分庁舎として使用することを目的に、法務局あとの払い下げを受けた。		
根拠条例等	-		

(2) 施設を構成する主な建物及び更新等推計費用

建物名・棟名	延床面積 (㎡)	構造	建築年月日	建築後30年後 大規模改修費 (千円)	建築後60年後 建て替え費 (千円)
分庁舎	359.25	鉄筋コンクリート	1987/3/1	89,813	143,700

※(2)の延床面積の計は主な建物のみ表示しているため(1)の総延床面積と一致しない場合があります。

(3) 個別管理計画に基づく方針等について(平成29年計画策定当時)

管理上の課題	本施設は、大きく2種類の役割からなっており、一つは、他団体の事務所として、施設を貸し出しており、もう一つは、本市の書庫として利用されている。事務所として貸し出している部分については、事務所管理者が適切に利用しているが、書庫部分については、清掃等行き届いていない状態である。	
基本的な考え方	本施設は、事務所として貸出している部分については、事務所管理者が日常的な維持管理を行うこととし、書庫については、定期的な清掃及び資料図書の整理整頓を行うこととする。また、施設の今後については、更新を行わず、第2期マネジメント期間に施設の譲渡もしくは除却を行う方針とする。	
方針	4	譲渡等の検討を行う。
マネジメント期	2	2023年度から2027年度までの5年間

(4) 計画見直しに伴う実施計画(令和3年3月31日時点)

	実施年度	主な工事事業	工事事業費(千円)
施設に係る 主な工事事業 (予定含む)	平成24年度	阿波市役所分庁舎空調機修繕	414
今後のあり方	本施設は、事務所として貸出している部分については、事務所管理者が日常的な維持管理を行うこととし、書庫については、定期的な清掃及び資料図書の整理整頓を行うこととする。また、施設の今後については、更新を行わず、第2期マネジメント期間に施設の譲渡もしくは除却を行う方針とする。		
方針の見直し	継続事業		
方針	4	譲渡等の検討を行う。	
マネジメント期	2	2023年度から2027年度までの5年間	

※マネジメント期は社会的及び経済的な事情等により変更となる可能性があります。

◆総合管理計画見直しに伴う個別施設計画

(1) 施設概要

施設名称	旧市場支所	所属課	契約管財課
大分類	行政系施設	中分類	庁舎等
所在地	市場町市場字上野段385-1	総延床面積 (㎡)	718.26
耐震基準/耐震化	新耐震基準/-	避難所指定	未指定
設置目的・役割	旧市場支所の周辺施設		
根拠条例等	-		

(2) 施設を構成する主な建物及び更新等推計費用

建物名・棟名	延床面積 (㎡)	構造	建築年月日	建築後30年後 大規模改修費 (千円)	建築後60年後 建て替え費 (千円)
北車庫	130.00	鉄骨造	1984/4/1	32,500	52,000
倉庫	582.06	鉄骨造	1985/1/1	145,515	232,824
トイレ	6.20	鉄筋コンクリート	1994/3/1	1,550	2,480

※(2)の延床面積の計は主な建物のみ表示しているため(1)の総延床面積と一致しない場合があります。

(3) 個別管理計画に基づく方針等について(平成29年計画策定当時)

管理上の課題	本施設は、旧市場支所の周辺施設である。今後は、用途変更を行い、施設の利活用を行うこととしている。	
基本的な考え方	本施設は、旧市場支所の敷地内にある倉庫、北車庫、トイレからなり、現在、倉庫は本市書庫として、また北車庫は本市建設課の資機材置き場として利用されている。なお、旧市場支所庁舎は、平成28年度に解体しており、跡地は防災公園として整備し、適切な維持管理を行う。	
方針	1	適切かつ計画的な維持管理を行う。
マネジメント期	-	-

(4) 計画見直しに伴う実施計画(令和3年3月31日時点)

施設に係る 主な工事事業 (予定含む)	実施年度	主な工事事業	工事事業費(千円)
	平成27年度	旧市場支所庁舎解体設計	1,129
	平成27年度	旧市場支所庁舎周辺家屋事前調査	1,652
	平成28年度	旧市場支所庁舎解体工事	41,234
	平成29年度	水防倉庫改修	
	平成29年度	備蓄倉庫改修	
今後のあり方			
方針の見直し	継続事業		
方針	1	適切かつ計画的な維持管理を行う。	
マネジメント期	-	-	

※マネジメント期は社会的及び経済的な事情等により変更となる可能性があります。

◆総合管理計画見直しに伴う個別施設計画

(1) 施設概要

施設名称	市役所庁舎	所属課	契約管財課
大分類	行政系施設	中分類	庁舎等
所在地	市場町切幡字古田201-1	総延床面積 (㎡)	10,445.84
耐震基準/耐震化	新耐震基準/-	避難所指定	未指定
設置目的・役割	-		
根拠条例等	阿波市役所の位置を定める条例		

(2) 施設を構成する主な建物及び更新等推計費用

建物名・棟名	延床面積 (㎡)	構造	建築年月日	建築後30年後 大規模改修費 (千円)	建築後60年後 建て替え費 (千円)
本館	9,547.48	鉄筋コンクリート	2014/12/1	2,386,870	3,818,992
倉庫1	733.32	鉄骨造	2014/12/1	183,330	293,328
倉庫2	60.42	鉄筋コンクリート	2014/12/1	15,105	24,168

※(2)の延床面積の計は主な建物のみ表示しているため(1)の総延床面積と一致しない場合があります。

(3) 個別管理計画に基づく方針等について(平成29年計画策定当時)

管理上の課題	本施設は、本市の行政事務を行うにあたり、中心的な役割を担っている。そのため、大規模な施設となっており、年間に要する電気代や保守管理委託料が多額に上っている。施設としての省エネルギー設備は充実していることから、利用者側からの節電等を実践し、費用の低減に努める。	
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。	
方針	1	適切かつ計画的な維持管理を行う。
マネジメント期	-	-

(4) 計画見直しに伴う実施計画(令和3年3月31日時点)

	実施年度	主な工事業	工事業費(千円)
施設に係る 主な工事業 (予定含む)	平成25年度	阿波市新庁舎及び交流防災拠点施設建設工事	4,618,152
今後のあり方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。		
方針の見直し	継続事業		
方針	1	適切かつ計画的な維持管理を行う。	
マネジメント期	-	-	

※マネジメント期は社会的及び経済的な事情等により変更となる可能性があります。



◆総合管理計画見直しに伴う個別施設計画

(1) 施設概要

施設名称	旧吉野支所	所属課	吉野支所 地域課
大分類	行政系施設	中分類	庁舎等
所在地	吉野町西条字大西60-1	総延床面積 (㎡)	434.95
耐震基準/耐震化	新耐震基準/-	避難所指定	未指定
設置目的・役割	行政サービスを施行する拠点		
根拠条例等	-		

(2) 施設を構成する主な建物及び更新等推計費用

建物名・棟名	延床面積 (㎡)	構造	建築年月日	建築後30年後 大規模改修費 (千円)	建築後60年後 建て替え費 (千円)
湯沸棟	127.01	鉄骨造	2001/1/1	31,753	50,804
役場書庫	307.94	鉄骨造	2000/3/26	76,985	123,176

※(2)の延床面積の計は主な建物のみ表示しているため(1)の総延床面積と一致しない場合があります。

(3) 個別管理計画に基づく方針等について(平成29年計画策定当時)

管理上の課題	平成30年度に分庁舎の除却を行い、今後は湯沸棟、書庫の2棟を維持管理する必要がある。	
基本的な考え方	本施設は、事務所、湯沸棟、書庫、分庁舎からなり、旧吉野町時代の町役場として、また、合併後の阿波市吉野支所として使用してきたが、現在、老朽化が進み、吉野支所の機能を、隣接する吉野コミュニティセンターに移管したことから、平成29年度に事務所の除却を行い、平成30年度には分庁舎の除却を予定している。	
方針	1	適切かつ計画的な維持管理を行う。
マネジメント期	-	-

(4) 計画見直しに伴う実施計画(令和3年3月31日時点)

施設に係る 主な工事事業 (予定含む)	実施年度	主な工事事業	工事事業費(千円)
	平成28年度	旧吉野支所解体工事に伴う設計業務委託	804
	平成29年度	庁舎解体	17,161
	平成30年度	分庁舎解体	
今後のあり方	旧吉野支所解体後、防災広場の整備に併せ、湯沸棟の1階は、土のうや建設課の資材保管庫として、2階は教育委員会の物置きとして活用している。また、書庫の1階は、備蓄倉庫・書庫・ケーブルテレビの中継所として、2階は書庫として活用している。今後も引き続き維持管理を行う。		
方針の見直し	継続事業		
方針	1	適切かつ計画的な維持管理を行う。	
マネジメント期	-	-	

※マネジメント期は社会的及び経済的な事情等により変更となる可能性があります。